

敦賀市総合計画審議会における主要な意見・提案等及び原案の修正・対応等について

再興戦略	箇所	主要な意見・提案等	対 応	修 正 内 容	答申文
北陸新幹線 敦賀開業に 向けた受け 皿づくり	14	・「新たな生活圏の形成等を見すえた」について、挿入することで、文意が通じなくなっている	・原案を右欄のとおり修正	・「このことから、北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりについて、新たな生活圏の形成を検討するとともに、・・・」へ修正	
	19	・「現状と課題」が不明確、顧客目線が欠落している	・原案を右欄のとおり修正	・「敦賀のイメージ戦略の推進」にて、マーケットインの考えを重視することを追記 ・「観光資源開発」にて、観光客の目線を重視した中心市街地の磨き上げをすることを追記	
	19	・受け皿づくりにおいて観光を推進する上で、広域観光は必須のこととなるため、記述を加えるべき	・原案を右欄のとおり修正	・「基本的な方向性」前段にて、広域的な連携に基づく、周遊滞在型観光を推進することを明記	
	19	・「(1) 敦賀のイメージ戦略の推進」において、人道の港が核ではなく、中心となるのは氣比神宮であるべきだ	・原案を右欄のとおり修正	・「敦賀のイメージ戦略の推進」における記述を、「氣比神宮や鉄道、そして人道の港等の敦賀ならではの地域資源やストーリーを訴えることができるイメージ戦略を推進」へ修正	○
	19	・人道の港と比較して、氣比神宮の方がより敦賀市民の共感を得ることができる			
	19	・観光まちづくりにおいては、ストーリーを重視したつながりが重要			
22	・「図表1-2」について、エリアと個別事業計画が混在しており、整理が必要	・原案を右欄のとおり修正	・図表1-2について、右側をエリア解説、左側をエリアごとの個別事業解説として再整理		
地域経済の 活性化	25	・「現状と課題」において、原子力発電所の長期運転停止を強調しすぎ	・現在の本市の地域経済や人口減少のきっかけとなるものであり、厳しい現状認識として必要であると認識 ・この現状認識を前提とする中で、産業構造の複軸化やこれを実現するためのハーモニアスポリス構想が生まれたため、強調する必要があると認識	・答申文に、「市民が将来に希望がもてる施策の実現」を追記	○
	26	・地域経済の活性化策において、(産業団地の企業誘致等) 税収の増加等の具体的な姿が見えない	・誘致企業等及び当該企業の設備投資額によって大きく異なってくるため、明確に示すことができない	・答申文に、「費用対効果を検証し、事業を実施すること」を追記	○
	26	・「(1) 短期・中期的な視点による地域経済の活性化」において、再興戦略1と重複している	・指摘のように、再興戦略間に内容等に重複があることは、計画体系として整理しきれていない側面がある ・しかし、今回の後期基本計画は、地域経済の活性化や現役世代への支援に主眼をおいているため、内容の重複は、むしろ地域経済の活性化等の命題に向けた再興戦略間での連携を確保するための措置	—	

再興戦略	箇所	主要な意見・提案等	対応	修正内容	答申文
地域経済の活性化	27	・「(2) 長期的な視点による地域経済の活性化」において、具体的に長期的な戦略を明示すべき	・原案を右欄のとおり修正	・第2産業団地を長期的な産業構造の複軸化に向けた足掛かりと位置づけ、3年かけてハーモニアスポリス構想を策定し、ビジョンと戦略を示すことを追記	
	27	・原子力発電所によってこれまで敦賀の地域経済の水準は高く、必ずしも当該水準に目標を設定する必要はないのではないか	・豊かであった敦賀の水準として理解を得られやすいとの考えから、長期運転停止前を基準として考えている ・ただし、指摘のように絶対的な基準ではないと認識	—	
	26	・域内消費の推進に向け、行政として具体的な施策は存在するのか、検討に終わるのではないか	・原案を右欄のとおり修正	・「(1) 短期・中期的な視点による地域経済の活性化」における記述を「域内消費の促進に向けて、効果的な施策を検討する」へ修正	
人口減少対策の推進	28	・「現況と課題」について、社会減（子育て世代の流出）の理由は原子力発電所の長期運転停止だけでなく、雇用の喪失等が要因との認識からこれを記述すべき	・原案を右欄のとおり修正	・「現況と課題」における記述を「・・・長期運転停止にあるだけでなく、これをきっかけとした地域経済そのものの不安定化や雇用の縮小があり、・・・」へ修正	
	31	・奨学金返済免除制度の導入を進めるべきではないか ・同レベルの大学を目指すとき、誘因要素となるのではないか	・現時点で導入の予定はない	・答申文に、「奨学金の返済免除制度の導入」を追記	○
	31	・奨学金返済免除制度について、奨学金返済で苦労している現状から、保育士等の専門職に応じた制度は、必要ではないか			
31	・そもそも出ていかせない要素を作り出すことが必要ではないか	・「(3) 人材育成の充実」に、既に「Uターンの促進だけでなく、若年層を出ていかせない要素と環境を創出」することを記述済み	・答申文に、「・・・雇用の安定化や高等教育等への進学可能性を構築することで、将来にわたる人口流出を抑制」を追記	○	
広域的かつ一体的な経済圏・生活圏の構築	38	・「概要版」において、原子力安全対策・防災対策の強化が特に関連の深い基本計画に位置づけられていることから、これに関する記述を加えるべき	・原案を右欄のとおり修正	・「(4) 広域的な道路網等の検討」にて、道路網の検討にあたっては原子力災害時等における避難・制圧機能の側面を重視することを追記	
	39	・ハーモニアスポリス構想が広域連携の推進を目的とすることから、広域観光等のその他広域連携政策を方針に掲げるべき	・原案を右欄のとおり修正	・「(5) ハーモニアスポリス構想の策定」にて、圏域内自治体の連携によって進め、観光や生活環境の整備等について協議を行ったことを追記	
	36	・滋賀県側との経済連携の推進は、滋賀県側の企業等の市内への流入を促進させ、市内企業に危機を招くのではないか	・ハーモニアスポリス構想は、市外企業の市内への参入を促すものではなく、市内企業と市外企業との産業間連携による新産業化を進め、地域経済を活性化するものである	・答申文に「市内企業の活性化を前提とすること」を追記	○